

取扱説明書 基本編

工事説明付き

カラーテレビカメラ

品番 **WV-CS580**



もくじ

はじめに	2
安全上のご注意	5
使用上のお願い	9
設置上のお願い	10
各部の名前	12
<hr/>	
DIPスイッチの設定	13
設置・接続のしかた	16
設置のしかた	17
カメラを取り外す	20
接続のしかた	21
<hr/>	
故障かな!?	23
仕様	27
保証とアフターサービス	29

はじめに

工事

その他

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
います。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(5～8ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

商品概要

本機は、1/4型CCDを搭載したカラーテレビカメラと36倍ズームレンズ、およびプリセット、水平・垂直回転台を一体化したドーム型の監視カメラです。おもな特長は次のとおりです。

●スーパーダイナミック6機能 (SUPER-D6) を採用

照度差の激しい被写体も鮮明に撮影できます。

●夜間白黒切替機能を搭載

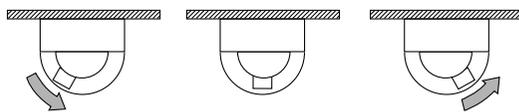
低照度時、自動的に白黒モードへ切り替えることができ、夜間でも鮮明に撮影できます。

●デジタルフリップ機能搭載

通常の垂直回転動作ではカメラが真下を向いたところで停止しますが、デジタルフリップ機能を使用すると垂直方向 0° ~ 180° をワンモーションで回転することができます。この機能により、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。

デジタルフリップ機能の動作

- ①下方向へ。
- ②真下付近 (135° 地点) で映像の上下を瞬時に切り替え。
- ③上方向へ。



・・・操作は、システムコントローラーのジョイスティックを下方向に倒しておくだけ。

●プライバシーゾーン機能搭載

撮影する場所 (画面) の中に写したくない部分がある場合、その部分だけを写さないようにすることができます。

●パトロール機能搭載

手動で操作した内容を記憶し、再現する機能です。たとえば、監視したい人の流れをあらかじめ予測してカメラ動作を記憶しておき、その内容を再現することにより、複雑な動きを自動で行います。

●カメラポジションを記憶可能

最大256か所、カメラポジションを設定することができます。設定したカメラポジションは、システムコントローラーからプリセット番号をテンキー入力して呼び出すことで、その映像をモニターに表示できます。

●モーションディテクター機能

監視中、モニター画面内に動きが生じた場合、アラーム信号を送出することができます。この機能により、夜間の侵入に反応してVTR録画するといったシステムを構築することができます。

付属品をご確認ください

取扱説明書 基本編（本書）	1冊	以下の付属品は取付工事に使用します。	
保証書	1式	飾りカバー	1個
CD-ROM ^{※1}	1枚	接点保護シート	1枚

※1 CD-ROMには取扱説明書操作・設定編が納められています。

取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書と取扱説明書 操作・設定編（CD-ROM内）の2部構成になっています。本書では、設置のしかたについて説明しています。
本機の操作や設定のしかたは、付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。PDFファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。

商標および登録商標について

AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

免責について

- この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ① 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
 - ② お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
 - ③ お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
 - ④ 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
 - ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
 - ⑥ お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
 - ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※ 経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。

はじめに



警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物破壊の原因となります。

- 放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店に連絡してください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

 **警告**

総質量に耐える場所に取り付ける

 落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

定期的に点検する

 金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。

- 点検は、販売店に依頼してください。

可燃性ガスの雰囲気の中で使用しない

 爆発によるけがの原因となります。
禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

 取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。
禁止

落下防止対策を施す

 落下によるけがや事故の原因となります。

- 落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。

専用の取付金具を使用する

 落下によるけがや事故の原因となります。

- 設置の際は、専用取付金具を使用してください。

ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

 落下によるけがや事故の原因となります。

振動のないところに設置する

 取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。

落とさない、強い衝撃を与えない

 けがや火災の原因となります。
禁止

配線は電源を切ってから行う

 感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。

警告

金属のエッジで手をこすらない



強くこするとけがの原因となります。

禁止

人や物がぶつからない高さに取り付ける



落下などの事故の原因になります。

雷が鳴りだしたら、本機や電源ケーブル、接続したケーブルに触れない（工事時を含む）



感電の原因となります。

接触禁止

ぶら下がらない、足場代わりにしない



落下などの事故の原因になります。

禁止

アースを確実に取り付ける



アースは確実に行ってご使用ください。アースを取り付けないと、故障や漏電のときに、感電するおそれがあります。

- アース工事は販売店にご相談ください。（アース工事費は本製品の価格には含まれていません）

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

回転動作中は本体部に手を触れない



回転部に指をはさみ、けがの原因になります。

禁止

- ドームカバーは付けた状態で使用してください。

電源ケーブルを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など）



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- 修理の際は販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

 **警告**

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

 **注意**

お手入れのときは電源を切る



けがの原因となります。

使用上のお願い

⚠ 警告 ⚠ 注意 に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機は屋内専用です。屋外では使用しないでください。

本機に電源スイッチはありません

電源プラグをコンセントに差し込むと電源が入ります。電源工事やお手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

長時間安定した性能でお使いいただくために高温・多湿の場所で長時間使用しないでください。部品の劣化により寿命が短くなります。設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

ドームカバーを直接触れないでください

ドームカバーが汚れると画質劣化の原因となります。

取り扱いはいない

落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

異常検出時、自動的に再起動を行います

本機は、何らかの原因で異常を検出すると自動的に再起動します。再起動した場合は、電源投入時と同様に約2分間操作ができません。

お手入れは

電源を切ってから行ってください。けがの原因になります。ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

※お手入れのあとは、カメラの向きを変えてしまっている場合がありますので、必ずポジションリフレッシュを行うか、本機を再起動してください。

水をかけないでください

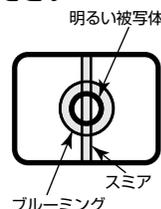
直接水をかけないでください。故障の原因になります。

CCD色フィルターの焼き付きについて

画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分に変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

強い光にカメラを向けないでください

画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング（強い光の周りがにじむ現象）、スミア（強い光の上下に縦縞が発生する現象）を生じることがあります。



消耗品について

次の部品は消耗品です。寿命時間を目安に交換してください。なお、寿命時間は、使用環境、使用条件により変わります。寿命時間は、+35℃にて使用した場合の目安です。

レンズ部、スリップリング：

約370万動作（約20000時間）

自己診断機能について

使用中、外来ノイズなどの影響により異常動作を30秒以上続けると、本機が自動的にリセット動作を行い正常な動作に復帰します。リセット動作は、電源投入時と同様の初期化動作を行いますが、頻繁に発生する場合は、本機の設置環境で外来ノイズが多く発生している可能性があります。故障の原因になりますので、早めに販売店にご相談ください。

モーター動作音について

パンまたはチルトの動作速度によっては、動作音が大きくなる場合があります。オートパンで動作音が気になる場合は、オートパンの設定速度を下げることで改善できます。

レンズ/回転台について

レンズやパン・チルト回転台などは長期間操作しないと、内部に塗布されたグリースの粘度が高まり、動かなくなることがあります。レンズやパン・チルト回転台を定期的に動かすか、または下記の要領でポジションリフレッシュを行って定期的に動かして使用してください。

ポジションリフレッシュについて

長期間使用していると、プリセットポジションがずれてくる場合があります。スケジュール機能でポジションリフレッシュを設定し、定期的にカメラの向きのを補正することをお勧めします。設定のしかたは、「取扱説明書 操作・設定編」（CD-ROM内）をお読みください。

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

設置の説明に従わず、正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

カメラの取付方法について

- 本機は吊り下げ専用です。据え置きや傾けた状態で使用すると、正常に動作しなかったり、寿命が短くなる場合があります。
- カメラは水平（ドーム下向き）に取り付けてください。

カメラの取付場所について

設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうち、丈夫な壁面や天井面などをよく選んで、設置してください。

- 強度が十分ある天井（コンクリート天井など）に取り付けてください。
- 強度が不十分な天井に取り付ける場合は、十分な補強を施すか、または別売りのカメラ天井直付金具WV-Q105またはカメラ天井埋込金具WV-Q126を使用してください。
- 天井から吊り下げて取り付ける場合は、別売りのカメラ天井吊り下げ金具WV-Q117を使用してください。
- 壁に取り付ける場合は、別売りのカメラ壁取付金具WV-Q118を使用してください。

以下のような場所での設置および使用はできません

- 雨や水が直接かかる場所（軒下なども含む）
- プールなど、薬剤を使用する場所
- ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所、および可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所
- 放射線やX線および強力な電波や磁気の発生する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 使用温度範囲（☞27ページ）を超える場所
- 車両や船舶などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所（ドームカバーが曇ったり、結露したりする場合があります）

カメラの取付方法について

カメラは水平（ドーム下向き）に取り付けてください。

取付ねじは別途ご用意ください

本機を取り付けるねじは付属されていません。取り付け場所の材質や構造、総質量を考慮してご用意ください。

取付ねじの締め付けについて

- ねじは取付場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損の原因となります。
- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください。

電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランスなど）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

電源について

- アース接続は、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。
- 電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
 - (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
 - (2) 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。
 - (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用する。

アース（接地）について

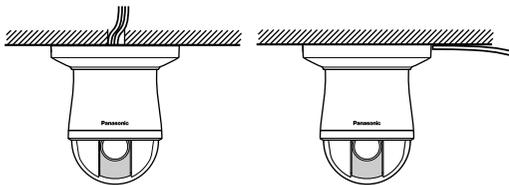
ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。アース端子付きコンセントを使用される場合は、接地抵抗値（100 Ω以下）をご確認ください。



ケーブル類（電源、映像出力、RS485、アラーム入力、アラーム出力）の配線について
本機をカメラ駆動ユニット（WV-PS174など）およびテックモニターに接続すると、故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。

本機のケーブル類は、天面および側面から引き出して配線することができます。

- ・天面から引き出す場合は、天井に線材を通す穴を開けてください。（⇒18ページ、手順3）
- ・側面から引き出す場合は、カメラ本体のダイカストケースと飾りカバーを加工してください。（⇒17ページ、本機と飾りカバーを加工する）

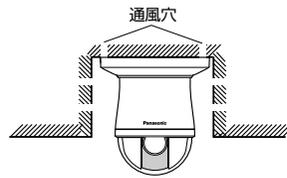


ノイズ障害が考えられる場合

AC 100 V以上の電力線（電灯線）と1 m以上離して配線工事するか、別々の金属管による配管工事を行ってください。（金属管は必ず大地アースを行ってください。）

放熱について

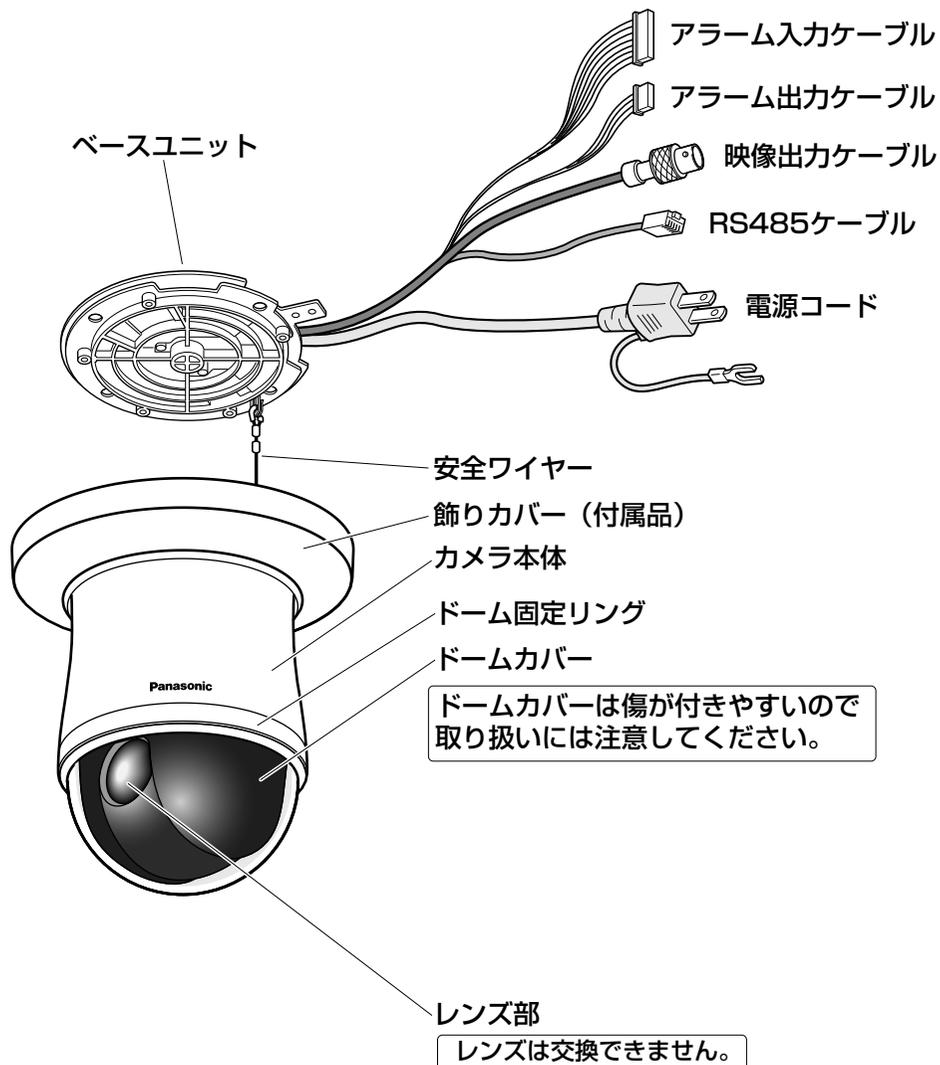
本機は、カメラ本体部表面より放熱させています。壁などに囲まれ、熱がこもる場所に設置するときは、通風穴を設けてください。



湿度に注意してください

本機の設置は、湿度の低いときに行ってください。湿度の高いときに設置を行うと、内部に湿気がたまりドームカバー内が曇ることがあります。曇ったときは湿度の低いときにドームカバーを外し、内部の湿気を出してから設置してください。

各部の名前



常に最良の状態でお使いいただくために

- ・本機は「スリップリング」と呼ばれる部品を使って電源や信号の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、パン（水平回転）操作時に画質の劣化やノイズが発生することがあります。

常に最良の状態を保つために、クリーニング機能を「ON」にしてお使いください。
(取扱説明書 操作・設定編 (付属CD-ROM内))

- ・スリップリングのクリーニングを行っても画質の劣化やノイズを解消できないときは、スリップリングの寿命が考えられますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

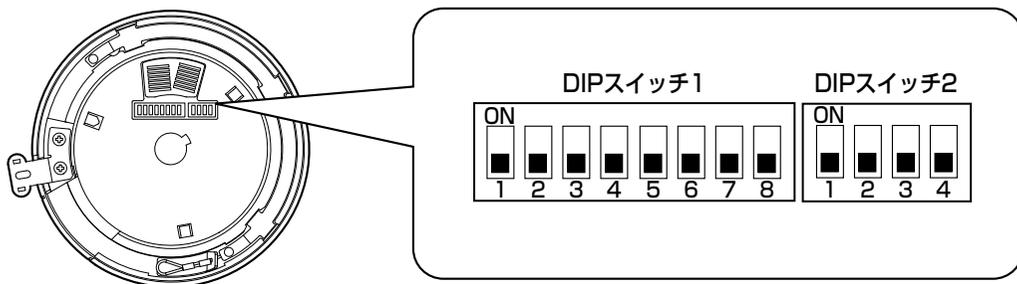
DIPスイッチの設定

重要!

同軸多重通信の場合はDIPスイッチに触らないでください。「OFF」のままご使用ください。本機のRS485ケーブルを使用して、システムコントローラーから本機を制御（回転台操作など）する場合は、本機を設置する前に、本機のDIPスイッチでユニット番号と通信方式を設定する必要があります。（⇒取扱説明書 操作・設定編（付属CD-ROM内））この設定を行わないと、システムコントローラーからの制御が行えず、再設置作業が必要となります。設置前に、必ずご確認ください。

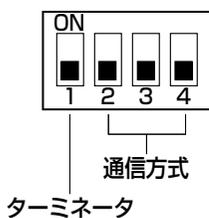
本機のRS485ケーブルを使用して、システムコントローラーから本機を制御（回転台操作など）する場合は、本機のDIPスイッチでユニット番号と通信方式を設定する必要があります。

DIPスイッチは、ベースユニットを取り外したところにあります。ベースユニットの取り外しかたは、17ページの手順1,2をご覧ください。



通信方式（DIPスイッチ2）の設定

工場出荷時は、すべて「OFF」に設定されています。



1番：ターミネータ（内部終端抵抗）

以下の場合には、「ON」に設定してご使用ください。

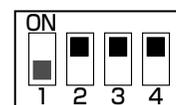
- ・本機を1台で使用する場合。
- ・複数のカメラを接続して使用する場合で、本機が終端になる場合。

2～4番：通信方式

2線式通信と4線式通信の切替設定です。使用する通信方式に設定します。



4線式通信の場合

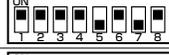
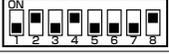
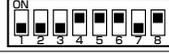
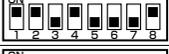
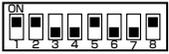
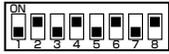
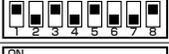
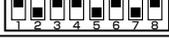
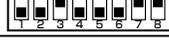
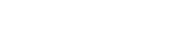


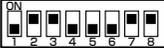
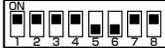
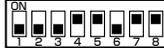
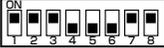
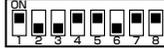
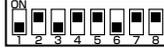
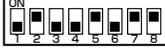
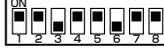
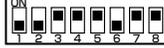
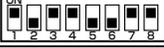
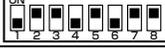
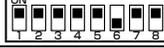
2線式通信の場合

DIPスイッチの設定 つづき

ユニット番号 (DIPスイッチ1) の設定

工場出荷時は、すべて「OFF」に設定されています。(同軸多重通信)

DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号
	1~96 ※		23		46
	1		24		47
	2		25		48
	3		26		49
	4		27		50
	5		28		51
	6		29		52
	7		30		53
	8		31		54
	9		32		55
	10		33		56
	11		34		57
	12		35		58
	13		36		59
	14		37		60
	15		38		61
	16		39		62
	17		40		63
	18		41		64
	19		42		65
	20		43		66
	21		44		67
	22		45		68

DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号
	69		78		87
	70		79		88
	71		80		89
	72		81		90
	73		82		91
	74		83		92
	75		84		93
	76		85		94
	77		86		95

※ユニット番号「1～96」に設定した場合は、RS485設定メニューでユニット番号を設定する必要があります。設定方法は、取扱説明書 操作・設定編（付属CD-ROM内）をご覧ください。

※この設定で電源を入れると、初期化動作中にRS485設定メニューが表示されます。

RS485通信条件（DIPスイッチ1）の設定

DIPスイッチ1を次のように設定すると、通信条件を工場出荷時の設定に戻したり、設定内容を変更することができます。

DIPスイッチ1	設 定 内 容
	通信条件を工場出荷時の設定に戻す。
	BAUD RATE : 19200 bit/s, DATA BIT : 8 bit, PARITY CHECK : NONE, STOP BIT : 1 bit
	BAUD RATE : 9600 bit/s, DATA BIT : 8 bit, PARITY CHECK : NONE, STOP BIT : 1 bit
	BAUD RATE : 4800 bit/s, DATA BIT : 8 bit, PARITY CHECK : NONE, STOP BIT : 1 bit
	BAUD RATE : 2400 bit/s, DATA BIT : 8 bit, PARITY CHECK : NONE, STOP BIT : 1 bit

この設定を使用するときは、次の手順で行ってください。

- ① 本機の電源を切り、DIPスイッチ1でRS485通信条件（上表）を設定します。
- ② 本機の電源を入れます。
手順①で設定した内容が反映されます。
- ③ 本機の電源を切り、DIPスイッチ1でユニット番号（⇒14～15ページ）を設定し、再度電源を入れます。

設置・接続のしかた

本機を設置・接続する際は、下記注意事項をお読みください。

重要

- カメラ取付金具（付属品）を取り付ける取付ねじ4本（M4）は取付場所の材質に合わせてご用意ください。ただし、木ねじおよびくぎは使用しないでください。
コンクリート天井の場合は、パナソニック株式会社製のAYプラグボルト（M4）で固定してください。
（推奨締付トルク 1.6 N・m {16 kgf・cm}）
- 取付場所のねじ引抜強度は、1本あたり196 N {20 kgf} 以上が必要です。
- 石こうボードなど強度が不十分な天井に取り付ける場合は、十分な補強を施すか、別売りのカメラ天井直付金具WV-Q105（取り付け例は下図を参照）またはカメラ天井埋込金具WV-Q126を使用してください。
- 壁に取り付ける場合は、別売りのカメラ壁取付金具WV-Q118を使用してください。
- 天井から吊り下げて取り付ける場合は、別売りのカメラ天井吊り下げ金具WV-Q117を使用してください。
- 別売りの取付金具を使用する場合は、使用する機器の取扱説明書をお読みください。
- ドームカバーに付いている保護シートは、設置工事完了後にはがしてください。

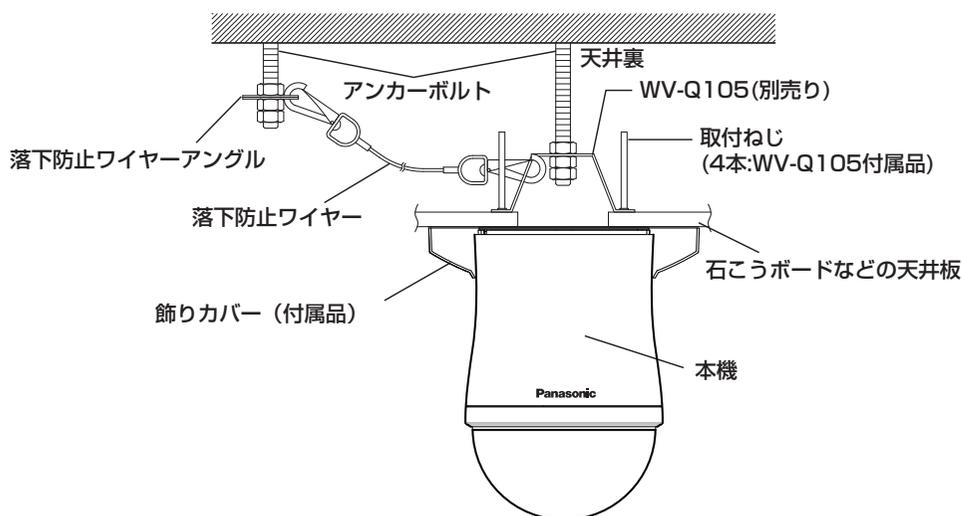
工事

設置場所	適合取付金具	推奨ねじ	ねじ数	最低引抜強度 (ねじ1本あたり)
天井	直付	M4	4本	196 N
天井	WV-Q105 (約 150 g)	-	-	※1
天井	WV-Q126 (約 1200 g)	M4	4本	※1
天井	WV-Q117 (約 720 g)	M4	4本	※1
壁	WV-Q118 (約 650 g)	M4	4本	※1

※1 カメラ本体を含めた総質量5倍以上の取付強度を確保してください。

<WV-Q105を使用した場合の取付例>

カメラ天井直付金具WV-Q105の取り付け方法については、取扱説明書をお読みください。



設置のしかた

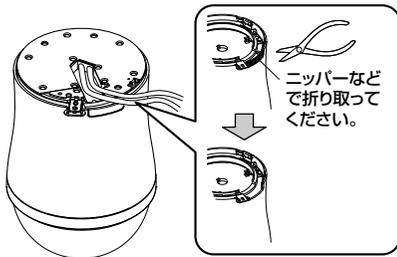
本機と飾りカバーを加工する（線材を側面から引き出す場合）

本機のケーブル類（電源、映像出力、RS485、アラーム入力、アラーム出力）を側面から引き出して、天井または壁面に配線する場合や、カメラ天井埋込金具WV-Q126（別売り）、カメラ壁取付金具WV-Q118（別売り）を使用する場合は、カメラ本体と飾りカバーを次のように加工してください。

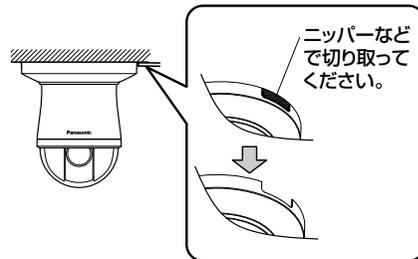
カメラ本体を加工するには、ベースユニットを取り外す必要があります。ベースユニットの取り外しかたは、下記「カメラを取り付ける」の手順1,2をご覧ください。

【カメラ本体の加工】

※作業時は、やわらかい布などを敷き、ドームカバー部に傷などが付かないよう、保護してください。



【飾りカバーの加工】



重要

カメラ天井埋込金具WV-Q126（別売り）、カメラ壁取付金具WV-Q118（別売り）を使用する場合、飾りカバーは使用しないので、カメラ本体のみ加工してください。

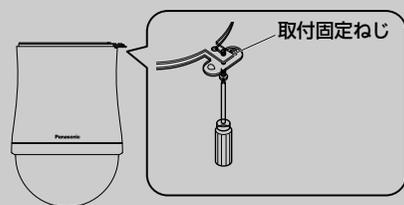
カメラを取り付ける

- ・取り付け場所は、カメラの総質量に耐えられる場所にしてください。強度が不十分ですと、落下によるけがの原因となります。
- ・ドームカバーに付いている保護シートは、設置工事完了後にはがしてください。
- ・別売りの取付金具にカメラを取り付ける場合は、使用する取付金具の取扱説明書をご覧ください。

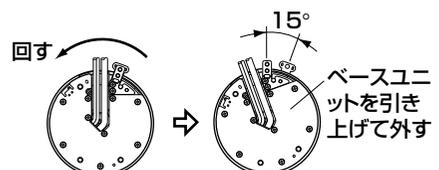
1 カメラ本体とベースユニットを固定している取付固定ねじ（M3×6）を外します
取付固定ねじは紛失しないように注意してください。

メモ

ベースユニットが外れにくい場合は、ねじをゆるめた状態で、一度上に押し上げてから外してください。



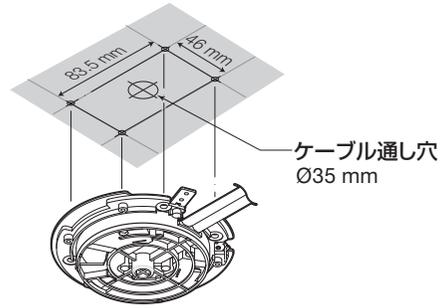
2 ベースユニットを矢印の方向に回して取り外します



設置のしかた (つづき)

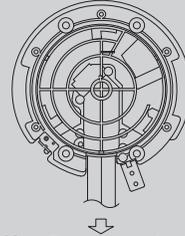
3 ベースユニットを型紙代わりに利用して、取付ねじ用の穴位置（4か所）をマーキングします

ケーブル類を天面から配線する場合は、線材を通す穴位置を決めて天井に穴を開けてください。



メモ

カメラを取り付ける向きは、下図を参考にしてください。



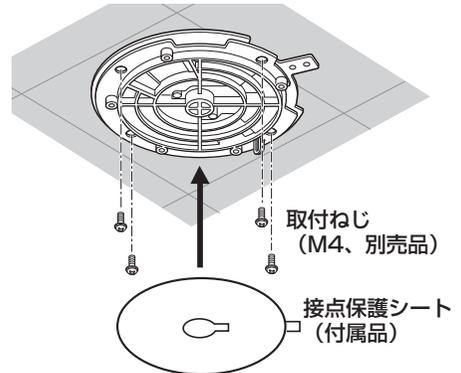
カメラ本体のPanasonicロゴの方向

4 ケーブル類を接続します。接続の詳細は21ページを参照してください。

5 ベースユニットを天井に取り付けます

取付ねじ（M4）は、取り付け場所に合わせてご用意ください。

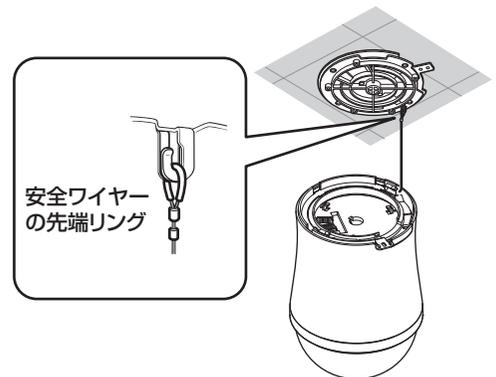
すぐにカメラを取り付けないときは、ほこりの付着を防止する接点保護シート（付属品）をはり付けてください。



6 カメラ本体に固定されている安全ワイヤーをベースユニットに取り付けます

安全ワイヤーを引いてみて、安全ワイヤーの先端リングが確実にベースユニットのフックにかかっていることを確認してください。

接点保護シート（付属品）がはり付けてあるときは、先にはがしてください。



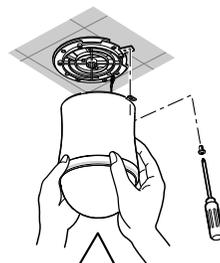
お願い

安全ワイヤーはカメラ本体を吊り下げることを想定し設計されていますので、それ以外の負荷を加えないでください。

7 カメラ本体をベースユニットに取り付けます
 ベースユニットにカメラ本体を合わせて奥まで差し込み、矢印の方向に回します。

注意

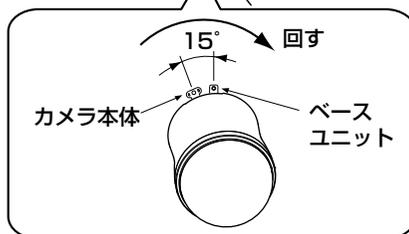
ドームカバーを持って回さないでください。故障の原因となります。



8 手順1で外した取付固定ねじで、カメラ本体とベースユニットを固定します

重要

推奨締付トルク：0.68 N・m {7.0 kgf・cm}



9 取り付けの確認をします

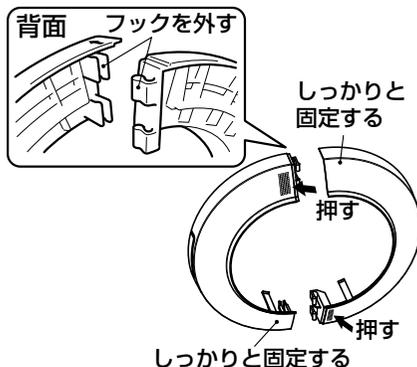
- ・傾きがなく、きちんと取り付けられていること。
- ・ぐらつかないこと。
- ・本体固定部を回してみても回らないこと。

10 飾りカバー（付属品）を分割します

飾りカバーの [格子状] 部を「←押す」の方向に押し上げて（右図）、フックを外してください。
 ※飾りカバー側面に、外す際に押す方向（←）が示されています。

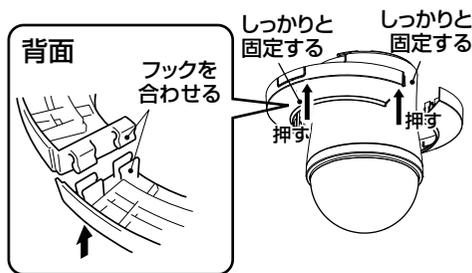
注意

逆方向に押し上げると破損の原因となります。



11 手順9で分割した飾りカバーをカメラ本体の左右よりはさみこみ、飾りカバーのフックをはめ込みます

フックを合わせて、右図の矢印の方向にはめ込んでください。

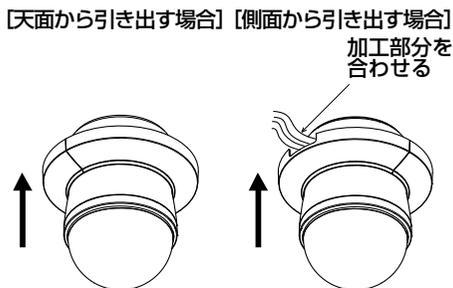


12 飾りカバーを持ち上げます

- ・線材を天面から引き出すときは、飾りカバーをそのまま上に持ち上げて、天井面に強く押しつけてください。
- ・線材を側面から引き出すときは、飾りカバーの加工部分が線材の位置に合うように持ち上げて、天井面に強く押しつけてください。

注意

飾りカバーの内側にある4つのツメをしっかりとカメラ本体に固定してください。



カメラの取り外し

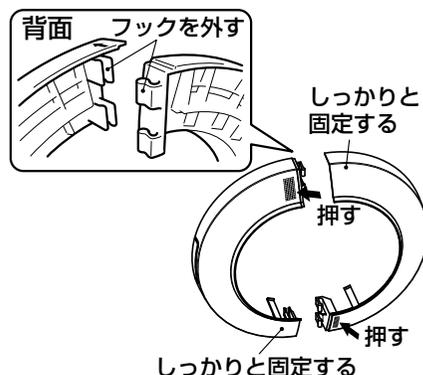
注意

本機および飾りカバーを取り外す場合は、下記の手順を必ずお守りください。破損の原因となります。

飾りカバーを取り外す

飾りカバーを取り外すときは、飾りカバーを分割する必要があります。

- 1 フックを外して取り外します**
飾りカバーの  部を「←押す」の方向に押し上げて（右図）、フックを外してください。
※飾りカバー側面に、外す際に押す方向（←）が示されています。



工事

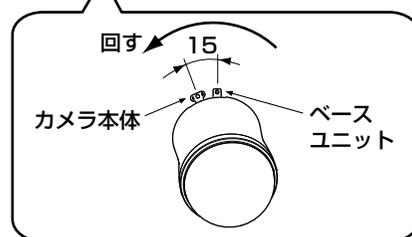
カメラ本体を取り外す

本機はカメラ本体とベースユニットをねじで固定しています。この固定部は二重の固定構造になっているため、カメラ本体を取り外す場合は以下の手順を行ってください。

- 1 カメラ本体とベースユニットを固定している取付固定ねじを外します**
取付固定ねじは紛失しないように注意してください。

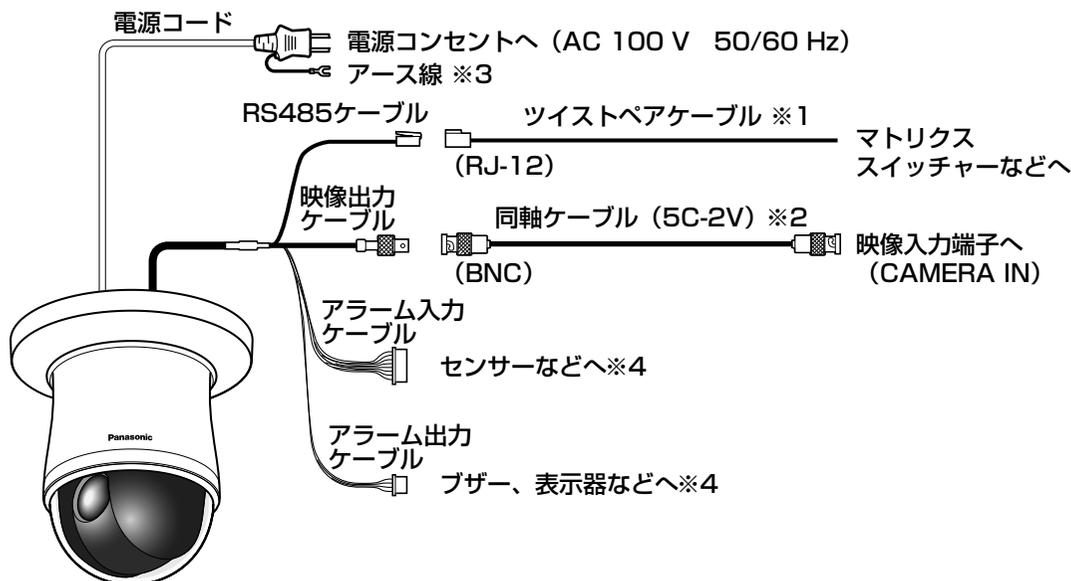


- 2 カメラ本体をベースユニットから取り外します**
カメラ本体を矢印の方向に回して取り外してください。

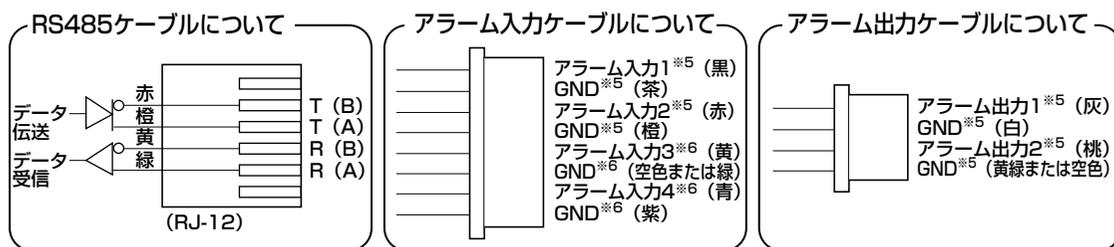


- 3 安全ワイヤーをベースユニットから取り外します**

接続のしかた



- ※1 : ツイストペアケーブルは、シールド付きAWG#22 (0.33 mm²)以上の太さの低インピーダンス品をご使用ください。
- ※2 : 同軸ケーブルの全長は、1200 m以下 (5C-2V時) にしてください。
- ※3 : アース線は必ずアースに接地してください。
- ※4 : 本機にはメス側コネクタケーブルは付属されていません。
ご使用の際は、コネクタ部をカットして、同じタイプのツイストペアケーブルを接続してください。



- ※5 : AWG#28のツイストペアケーブルをご使用ください。
- ※6 : AWG#26のツイストペアケーブルをご使用ください。

アラーム入出力の定格

アラーム入力 : 5 V DCプルアップ入力。0.2 mA以上のドライブ能力が必要です。

OFF : 4 V DC以上、5 V DC以下またはオープン

ON : 1 V DC以下またはショート

アラーム出力 : オープンコレクタ出力。ドライブ能力16 V DC、100 mA以下。

OFF : オープン

ON : 100 mA以下

※外部機器接続時は、定格を超えないように設置してください。

メモ

電源投入後、30 秒以内に電源の入/切を繰り返すと、パン・チルト・ズーム・フォーカスの位置がずれることがあります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
カメラ画像が出ない (暗い)	▶ ●カメラは正しく接続されていますか?ご使用のシステムコントローラーの取扱説明書をご確認ください。	—
	▶ ●レンズのIRISが閉じられていませんか?ご使用のシステムコントローラーからアイリスリセットを実行してください。	操作・設定編
	▶ ●固定シャッターが設定されていませんか?	操作・設定編
画像が白っぽい	▶ ●レンズのIRISが開いていませんか?	操作・設定編
	▶ ●電子感度アップ設定が固定(FIX)設定になっていませんか?	操作・設定編
画像の焦点が合わない	▶ ●ドームカバー、レンズが汚れていませんか?ドームカバー/レンズの汚れを落としてください。	9
	▶ ●オートフォーカスモードがNORMAL設定になっていませんか?	操作・設定編
	▶ ●オートフォーカスでピントが合いにくい被写体を写していませんか?手動操作でピントを合わせてください。	操作・設定編
画像にノイズが入る	▶ ●スリッピングの汚れが考えられます。クリーニング機能を使っていますか?	操作・設定編
	▶ ●カメラは正しく設置されていますか?	9~11

その他

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
画像の色が良くない	▶ ●ホワイトバランス設定をご確認ください。	操作・設定編
	▶ ●特別設定メニューで画質の調整を行ってください。	操作・設定編
	▶ ●ドームカバー、レンズが汚れていませんか？ドームカバー／レンズの汚れを落としてください。	9
画面がチラつく	▶ ●ちらつきが気になる場合は、1/100のシャッターを設定してください。	操作・設定編
	▶ ●SUPER-D6機能を使用している場合は、OFFにしてください。	操作・設定編
残像が出る	▶ ●DNR設定をご確認ください。	操作・設定編
画像が白黒になる	▶ ●本機には、白黒切替機能があります。設定をご確認ください。	操作・設定編
カラー／白黒が頻繁に切り替わる	▶ ●白黒切替レベルと調整時間を調整してください。	操作・設定編
画面に白い点が出る	▶ ●PIX OFF機能を使用してください。	操作・設定編
メニューが変えられない	▶ ●パスワードロック機能が設定されていませんか？	操作・設定編

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
メニューが開けない	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラは正しく接続されていますか？ご使用のシステムコントローラーの取扱説明書をご確認ください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラの通信設定が正しく行われていますか？ 	13~15 21~22
パスワードを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ●お買上げの販売店にご連絡ください。 	—
白黒画像に切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> ●外部アラーム入力4の設定がBWになっている場合は切り替わりません。設定をご確認ください。 	操作・ 設定編
パン・チルト・フォーカスが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラは正しく接続されていますか？ご使用のシステムコントローラーの取扱説明書をご確認ください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●本機には、PAN LIMIT機能があります。設定をご確認ください。 	操作・ 設定編
	<ul style="list-style-type: none"> ●モーター、レンズの消耗が考えられます。お買上げの販売店にご連絡ください。 	—
カメラの動作モード (OFF, SEQ, SORT, AUTOPAN, PATROL, AUTO-TRACK) が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ●セルフリターン機能をご確認ください。 	操作・ 設定編
	<ul style="list-style-type: none"> ●アラーム入力設定端子の設定をご確認ください。 	操作・ 設定編
	<ul style="list-style-type: none"> ●モーションディテクター機能のリカバリータイムの設定をご確認ください。 	操作・ 設定編

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
カメラの動作モード (OFF, SEQ, SORT, AUTOPAN, PATROL, AUTO-TRACK) が変化する	<ul style="list-style-type: none"> ● セルフリターン機能をご確認ください。 	操作・設定編
ポジション設定した場所にカメラが向かない	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別設定メニューのリフレッシュ機能を行ってください。 	操作・設定編
ポジション設定したとおりの画像になっていない	<ul style="list-style-type: none"> ● プリセットメニュー、シーンファイルにて調整してください。 	操作・設定編
カメラを水平に向けたとき画面の上側が黒くなる	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常ではありません。(カメラ内部のカバーが写りこんでいるためです。) 	操作・設定編
自動的にカメラが回りだす	<ul style="list-style-type: none"> ● クリーニング機能がONのときは異常ではありません。設定をご確認ください。 	操作・設定編
	<ul style="list-style-type: none"> ● ノイズによる障害が考えられます。 	9~11

電源コードは、ときどき点検してください。

電源コードの被ふくが傷んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コード・コネクタ・電源プラグが傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源コードの一部が熱い	
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったり、ぬるくなったりする	

仕様

●基本仕様

電源	AC100 V 50 Hz / 60 Hz
消費電力	4.2 W
撮像素子	1/4型インターライン転送方式CCD
有効画素数	976 (H) × 494 (V)
走査面積	3.66 mm (H) × 2.74 mm (V)
信号方式	NTSC方式
同期方式	内部同期 (INT)、多重化垂直ドライブ (VD2)
走査方式	2:1インターレース
走査周波数	水平: 15.734 kHz、垂直: 59.94 Hz
映像出力	VBS: 1.0 V [P-P] / 75 Ω (BNCプラグ)
解像度 (中心部にて)	水平: 650TV本typ. 垂直: 350TV本以上 (中心部)
最低照度	0.5 lx (カラーモード) 0.04 lx (白黒モード) 電子感度アップOFF AGC HIGH時
ダイナミックレンジ	52 dB typ. (SUPER-D6: ON)
SN比	52 dB以上 (AGC: OFF)
使用温度範囲	-10 °C ~ +50 °C (推奨+35 °C以下)、湿度90 %以下 (結露しないこと)
寸法	185 mm (直径) × 202 mm (高さ) (飾りカバーを含む)
質量	約1.7 kg
仕上げ	本体: ABS+PC樹脂 焼付塗装 (塗装色: ファインシルバー) ドーム部: 透明アクリル樹脂

●回転台部

水平回転範囲	360° エンドレス旋回
水平回転動作	マニュアル、オート、マニュアルポジション、シーケンスポジション
水平回転速度※1	マニュアル: 約0.065 °/s~120 °/s 8段階/16段階/64段階 プリセット: 最大約400 °/s
垂直回転範囲	-5° ~ 185° (水平~真下~水平) (TILT ANGLE設定による)
垂直回転動作	マニュアル、マニュアルポジション、シーケンスポジション
垂直回転速度※1	マニュアル: 約0.065 °/s~120 °/s 8段階/16段階/64段階 プリセット: 最大約400 °/s

※1 回転速度は、使用するシステムコントローラーによって変わります。

仕様 つづき

●レンズ部

ズーム比	36倍（電子ズーム使用時：最大約720倍）
焦点距離	3.3 mm ~ 119 mm
最大口径比	1 : 1.4 (WIDE) ~ 4.2 (TELE)
至近距離	1.8 m
絞り範囲	F1.4 ~ 22、Close
画角	水平：1.7 (TELE) ~ 60.2 (WIDE) 垂直：1.3 (TELE) ~ 46 (WIDE)

●主な機能

システムコントローラとのI/F	同軸多重通信、RS485
制御機能	回転台、レンズ、256プリセットポジション回転動作、ホームポジション、パトロール
AGC	ON (LOW)/ON (MID)/ON (HIGH)/OFF
タイトル (ID)	ON/OFF (プリセットID、カメラID、エリアタイトル：英数記号、カタカナ16文字)
ズーム倍率制限	1~720倍 (36倍以上は電子ズーム)
パスワードロック機能	メニュー全体
オートフォーカス	NORMAL/AUTO (パン・チルト・ズーム連動)
アイリス (IRIS)	ALC (OPEN/CLOSEの出力目標レベルを補正可能) /MANUAL
電子シャッター	OFF (1/60)、AUTO、1/100、1/250、1/500、1/1000 1/2000、1/4000、1/10000
電子感度アップ	最大32倍 (AUTO)、最大512 (FIX)
オートモード	OFF/SEQ/SORT/AUTOPAN/PATROL/AUTOTRACK
オートパンキー	SEQ/SORT/AUTOPAN/PATROL/AUTOTRACK
デジタルフリップ	ON/OFF
SUPER-D6	ON/OFF
モーションディテクター	OFF/MOTION DET/SCENE CHANGE
アラーム入出力	4入力 (ALARM IN 1~4)、 2出力 (ALARM/AUX1、BW/AUX2)
白黒切替	AUTO/ON/OFF
プライバシーゾーン	ON/OFF (ゾーン設定8か所)
パトロール	STOP/PLAY/LEARN
クリーニング	ON/OFF
イメージホールド	ON/OFF
画揺れ補正	ON/OFF
シーンセレクト設定	INDOOR (L) /INDOOR (H) /OUTDOOR (L) /OUTDOOR (H)
言語設定	日本語/英語/ドイツ語/フランス語/イタリア語/スペイン語/ロシア語/中国語

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(P.23~26ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 カラーテレビカメラ

●品番 WV-CS580

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？	直ちに使用を中止してください
<ul style="list-style-type: none"> ● 本機を使用せずに放置している。 	<p>事故防止のため、必ず販売店または施工業者に撤去を依頼してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。 ● 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。 ● 本機および取付部に破損や著しいさびがある。 	<p>事故防止のため、必ず販売店または施工業者に点検を依頼してください。</p>

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

性本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があります。故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？	直ちに使用を中止してください
<ul style="list-style-type: none"> ● 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。 ● 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。 ● 製品に触るとビリビリと電気を感じる。 ● 電源を入れても、映像や音が出てこない。 ● その他の異常・故障がある。 	<p>故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店または施工業者に点検や撤去を依頼してください。</p>

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ フ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからのご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号